

安全目標検討合同 WG 第 6 回会合 議事録

日時：2025 年 3 月 4 日（火）15:00～16:30

WEB：Webex

参加：山本主査(本日の議長)、成宮主査、蛸沢委員、小野寺委員、河合委員、沼田委員、白井委員、高田委員、鄭委員、成川委員、更田委員、本間委員、丸山委員、村松委員、山中委員、田中氏、山岡氏、以上 17 名。

欠席：なし

議題：

1. 第 5 回 WG の議事録確認：

山本主査より、資料 SGWG6-1 について説明があった。特筆する議論はなかった。

2. WG 報告書案

内容の説明の前に、成宮主査より、資料 SGWG6-2 の今後の取り扱いについて、説明があった。

➤ 1. 本 WG の活動趣旨

成宮主査より、資料 SGWG6-2 の 1 章について説明があった。主な議論は以下のとおり。

＜主な議論＞

・東大連携講座の活動についても、1 章の文章内にて言及すべきではないか。

→承知した。

➤ 2.1 安全目標の目的

成川委員より、資料 SGWG6-2 の 2.1 節について説明があった。また、補足として成宮主査より、資料 SGWG6-3 の位置づけについて説明があった。特筆する議論はなかった。

➤ 2.2 安全目標の構成

鄭委員より、資料 SGWG6-2 の 2.2 節について説明があった。特筆する議論はなかった。

➤ 2.3 安全指標の適用

沼田委員より、資料 SGWG6-2 の 2.3 節について説明があった。主な議論は以下のとおり。

＜主な議論＞

・BDBE という単語が出てくるが現在は使われていないので修正してほしい。

→修正する。

・安全目標の“適用”とは何か。そもそも、適用とは何かの定義がないと感じる。様々な安全目標（定性的・定量的、性能目標など）が一緒に議論されている印象を受ける。もう少し整理が必要ではないか。

→2.3 節は適用するとしたらどのような適用方法があるかを記載する節であり、そもそも適用とはどういうこ

とかという議論については、2.1 節で言及するのが良いと考える。

→2.1 節で安全目標の適用に関する言及がなされているかを確認し、不足があれば加筆対応する形で対応する。

・不確かさの取り扱い等議事録に記述の内容について、記載を拡充したい。3/20 までに文案を作成し送付させていただく。

➤ 2.4 社会とのコミュニケーション

山本主査より、資料 SGWG6-2 の 2.4 節について説明があった。特筆する議論はなかった。

➤ 3. 海外動向

河合委員より、資料 SGWG6-2 の 3 章について説明があった。主な議論は以下のとおり。

＜主な議論＞

・安全目標は参照すべき情報の有無が大きな問題である。各国において現状アベイラブルなリスク情報の違いを比較参照する事は可能か？例えば、IPE, IPEEE 等の情報の有無等、各国がどのくらい利用可能なリスク情報を持っているかを比較できるか？

→規制当局等が設定した目標値・基準値等と比較する情報があるかというご質問だと理解した。各国は外部事象も含めた PRA を実施し、安全目標と比較している。PRA の品質等については、米国は基準を有しているが、英仏フィンランドスウェーデンに関しては、現状では調査できていない。

→フルセットでコードを所有しデータがあれば PRA 実施可能な実力持つ規制は米国だけだろう。是非可能な範囲で検討いただきたい。

・SAP の BSL には 2 種類（公的な基準値になっているものとそうでないもの）があるとの理解でいるが、その理解は正しいか？

→確率値の方があくまで参考値という扱いになっており、SAP に記載ある法的な制限値は線量に関する 2 つの BSL だけとの認識である。

・各国の表の中に、韓国も追加したい。韓国では、Cs-137 の放出量 100TBq が、新設だけでなく既設炉にも適用（確率も含め、実質的な制限値として）されることになっている。この目標値について、韓国内でもかなりの議論があり、課題が指摘されている。一度、韓国を追加した表の修正案を作成し河合委員に提供させていただく。

➤ 4. 今後の検討

成宮主査より、資料 SGWG6-2 の 4 章について説明があった。また、成宮主査、山岡氏より、資料 SGWG6-2 の付録 3 について説明があった。特筆する議論はなかった。

3. 次回以降の進め方

・成宮主査より、今後の進め方について説明があった。特筆する議論はなかった。

以 上